

平成27年(2015年)6月10日(水)

文教・警察常任委員会

平成 27 年 度

教育委員会の主要施策について

教 育 委 員 会

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明										
<p>【教育総務課】</p> <p>高等学校建設費</p>	<p>5,200,074 (4,216,618)</p> <p>繰 36,608</p> <p>起 4,569,600</p> <p>⊖ 593,866</p>	<p>1 耐震対策 2,543,754</p> <p>旧耐震基準により建築された学校施設について、順次、耐震診断調査結果に基づき、耐震化工事を実施していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震化工事 10校 <ul style="list-style-type: none"> 継続工事 8校 (石山・彦根工業・彦根翔陽・湖南農業 栗東・信楽・八日市南・能登川) 新規工事 2校 (長浜北 (仮設校舎建設)・長浜北星) <p>2 天井等落下防止対策 751,339</p> <p>「学校施設における天井等落下防止対策のための手引」に基づき、落下防止対策を計画的に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事 33校 (体育館・武道場) <p>3 施設改修 57,416</p> <p>学校施設の適切な維持のため、施設改修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計・工事 5校 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 40px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">太陽光発電・蓄電池・体育館照明</td> <td style="width: 50%;">草津東</td> </tr> <tr> <td>高圧受電ケーブル改修</td> <td>八幡工業</td> </tr> <tr> <td>非常用放送設備更新改修</td> <td>甲西</td> </tr> <tr> <td>ガス管改修</td> <td>東大津</td> </tr> <tr> <td>暖房用灯油送り管改修</td> <td>伊香</td> </tr> </table> </div>	太陽光発電・蓄電池・体育館照明	草津東	高圧受電ケーブル改修	八幡工業	非常用放送設備更新改修	甲西	ガス管改修	東大津	暖房用灯油送り管改修	伊香
太陽光発電・蓄電池・体育館照明	草津東											
高圧受電ケーブル改修	八幡工業											
非常用放送設備更新改修	甲西											
ガス管改修	東大津											
暖房用灯油送り管改修	伊香											

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
(特別支援学校建設費)		<p>3 県立学校再編事業 534,178</p> <p>平成24年12月策定の「魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて～滋賀県立高等学校再編実施計画～」に基づき施設整備を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規工事 1校（長浜高等養護）
<p>【学校支援課】</p> <p>教育行政企画調整費</p>	<p>3,732 (2,035)</p> <p>国 231</p> <p>⊖ 3,501</p>	<p>1 滋賀の教育改革の推進 933</p> <p>県立高等学校再編計画を着実に実施し、魅力と活力ある学校づくりを推進する。</p>
特別支援教育振興費	<p>44,956 (27,170)</p> <p>国 10,896</p> <p>⊖ 34,060</p>	<p>発達障害を含む障害のある子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握して、その持てる力を高め、生活や学習の困難を克服するための適切な指導と必要な支援を行う。</p> <p>1 医療的ケア児童生徒通学支援研究事業 1,800</p> <p>医療的ケアを必要とする児童生徒の通学にかかる保護者の送迎負担の軽減方策について実証研究を行う。</p> <p>④⑤ 2 「地域で学ぶ」支援体制強化事業 15,668</p> <p>インクルーシブを見据えた就学指導を推進するとともに、小中学校における障害のある児童生徒への支援を行うスタッフや医療的ケアを行う看護師の配置ならびに「副次的な学籍」など柔軟な学びの仕組みづくりの研究に取り組む。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
(特別支援教育振興費)		<p>③ ④ 3 高等学校特別支援教育推進事業 4,567</p> <p>高等学校において、障害のある生徒への支援を行うスタッフを配置することにより、障害のある生徒を支える体制を構築する。</p> <p>4 高等学校巡回チーム派遣事業 1,885</p> <p>特別支援教育巡回チームの派遣により、高等学校における特別な教育的支援を必要とする生徒への指導力の向上を図る。</p> <p>5 インクルーシブ・プログラム推進モデル事業 4,814</p> <p>特別支援学校と小中学校が連携しながら芸術活動やスポーツ活動に取り組むインクルーシブ・プログラムにより、交流および共同学習を推進する。</p> <p>6 やさしさをつなぐ学びのネットワーク推進事業 5,454</p> <p>インクルーシブ教育システムの構築を目指し、特別支援学校と小中学校の連携のもと、障害の状態に応じた指導方法や教材等にかかる「合理的配慮」の提供について、モデル事業を実施する。</p>
特別支援学校設備整備費	<p>70,967 (41,175)</p> <p>⊖ 70,967</p>	<p>特別支援学校に必要な設備等を整備する。</p> <p>1 スクールバス整備費 50,763</p> <p>知肢併置特別支援学校に配備しているスクールバスを2台増車するとともに、2台を更新する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
特別支援学校教育振興費 国 財 諸 ⊖	689,216 (629,893) 99,377 1,440 330 588,069	<p>特別支援学校における教育振興のため、教科活動や職業教育など、各種事業を実施する。</p> <p>重1 職業的自立と社会参加をめざした職業教育充実事業 7,847</p> <p>これまで取り組んでいる企業の知見を生かした作業学習の見直しや授業改善を知肢併置特別支援学校各校へ拡げるとともに、「しがしごと検定」の模擬検定の実施や職業教育の充実に向けた教育課程の研究に取り組む。</p>
【教職員課】 人事管理費 諸 ⊖	69,462 (71,745) 2,680 66,782	<p>重1 県立学校障害者雇用推進事業 18,971</p> <p>県立学校における農場の施設管理等のため、障害者を雇用し、農業に関する知識・技術の取得を通じて就労の機会の拡大につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業作業嘱託員 10人 <p>2 指導力課題研修事業 6,249</p> <p>指導が不適切な教員への対応を図るため、附属機関として「滋賀県指導不適切教諭等認定審査委員会」を設置し、専門的立場からの意見を求め、指導が不適切な教員としての認定等を行うとともに、当該教員の指導力向上のための指導や研修を実施する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>教職員給与費</p>	<p>113,380,290 (114,105,612)</p> <p>国 19,574,772</p> <p>使 2,590,154</p> <p>諸 14,676</p> <p>起 2,900,000</p> <p>⊖ 88,300,688</p>	<p>1 少人数学級編制の実施</p> <p>基礎・基本の確実な定着を図り、児童生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばし、学力向上に取り組むため、きめ細かな指導を行うとともに、いじめから子どもを守るため、児童生徒一人ひとりとしっかりと向き合い、いじめの未然防止や早期発見・対応ができる環境を整備するため、少人数学級編制を小学校全学年に拡大し、少人数学級編制の充実を図る。</p> <p>(1) 法制化されている小学校1年生に加え、小学校2年生から中学校3年生までの全学年（小学校3年生については複数指導との選択制、小学校4年生から6年生、中学校2年生および3年生については少人数指導との選択制）において、35人学級編制をすべての小中学校で実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 教員 211人 ・中学校 教員 183人 <p>2 いじめ問題への適切な対応</p> <p>教員がいじめを早期に発見し、適切に対応できるよう、時間にとらわれず特別な指導に取り組むことができる教員の配置を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校 教員 9人

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明			
		教職員定数 単位：人			
			27年度(A)	26年度(B)	増減(A-B)
小学校	校長教諭等	4,706	4,739	△33	
	養護教諭	242	246	△4	
	栄養教諭・ 栄養職員	60	59	1	
	事務職員	260	262	△2	
	小計	5,268	5,306	△38	
中学校	校長教諭等	2,782	2,804	△22	
	養護教諭	110	110	0	
	栄養教諭・ 栄養職員	16	16	0	
	事務職員	123	125	△2	
	小計	3,031	3,055	△24	
高等学校	校長教諭等	2,259	2,261	△2	
	上記以外の職員	426	436	△10	
	小計	2,685	2,697	△12	
特別支援学校	校長教諭等	1,105	1,097	8	
	上記以外の職員	162	162	0	
	小計	1,267	1,259	8	
		合計	12,251	12,317	△66
(参考)					
		小学校	中学校	高等学校	特別支援
学校数	H27	224	99	48	15
	H26	226	100	48	15
	増減	△2	△1	0	0
児童生徒数	H27	82,131	40,957	33,190	2,200
	H26	82,824	41,274	33,480	2,162
	増減	△693	△317	△290	38

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
教職員福利厚生費	163,891 (150,205) 諸 202 ⊖ 163,689	<p>教職員の生活の安定と福祉の向上に寄与するとともに、公務の能率的運営に資するため、福利厚生事業を実施する。</p> <p>1 教職員の安全衛生管理体制の推進 63,866</p> <p>教職員の安全および健康を確保する。</p> <p>2 公立学校共済組合運営 98,417</p> <p>共済制度を実施するため、法に規定された費用の負担をする。</p>
【学校教育課】 生徒指導対策費	186,885 (235,603) 国 42,403 ⊖ 144,482	<p>いじめ、不登校、暴力行為等の生徒指導上の諸問題への対策として、児童生徒や保護者に対する相談・指導体制を充実する。</p> <p>1 スクールカウンセラー等活用事業 68,957</p> <p>スクールカウンセラーの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校：中学校から校区内の小学校へ派遣 ・中学校：公立全校（うち常駐校4校、小中連携校8校） ・高等学校：県立全校（うち重点校9校） <p>重2 スクールカウンセラー拡充事業 57,841</p> <p>いじめや不登校の未然防止、早期発見、早期対応を促進するため、スクールカウンセラーを追加派遣する。</p> <p>また、小学校にも重点校を設定し、小学校段階からの相談体制の充実を図る。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
(生徒指導対策費)		<p>重3 スクールソーシャルワーカー活用事業 26,994</p> <p>社会福祉等の専門的な知識を有するスクールソーシャルワーカーをいじめや不登校の課題の大きい小学校へ配置するとともに、教職員に福祉的な視点を定着させる。</p>
		<p>重4 生徒指導緊急特別対応事業 9,192</p> <p>警察OBを学校へ派遣し、警察等司法に加え、児童相談所、医療機関等と連携して、困難な問題の解決を図る。</p>
		<p>重5 生徒指導緊急サポート事業 3,069</p> <p>子どもの命に関わる重大事案が発生した場合、専門的知見による助言・支援を行い、警察等司法に加え、福祉や医療機関とも一体となった危機対応を実施する。</p>
		<p>重6 いじめで悩む子ども支援事業 16,203</p> <p>「相談支援員」を配置し、子どもや保護者からの相談対応を行うとともに、解決に向けての支援を図る。 また、市町との連携が必要な場合には「相談調整員」が連携を図るとともに、定期的な情報交換を行う。</p>
		<p>7 滋賀県「絆をつむぐ学校づくり」推進事業 309</p> <p>滋賀県いじめ問題生徒会サミットを開催し、各市町生徒会代表者による意見交換の機会を設定し、児童生徒の自主的・自立的な活動の充実を図る。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明																		
(生徒指導対策費)		<p>8 不登校対策調査研究会議 450</p> <p>不登校対策として、庁内関係部局が連携し、有識者の助言を得ながら不登校の調査分析や各校での取組効果検証を行い、不登校に対する有効な対応策を見いだし、成果の普及啓発を図る。</p>																		
高等学校奨学資金貸付事業費	569,020 (455,898)	<p>経済的理由により高等学校等への修学が困難な者に対して、奨学金を貸与する。また、給付金の支給により低所得世帯の教育費負担の軽減を図る。</p> <p>1 奨学資金貸付金 303,138</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>自宅通学者</th> <th>自宅外通学者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">奨学金 (月額)</td> <td>国公立</td> <td>18,000円</td> <td>23,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>30,000円</td> <td>35,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">入学資金 (一時金)</td> <td>国公立</td> <td colspan="2">50,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td colspan="2">50,000円ただし、入学金相当額内(150,000円を限度)の加算あり</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 奨学のための給付金 265,882</p> <p>国の高校生等奨学給付金を活用して、低所得世帯に属する国公立高等学校等の生徒について、教育費負担を軽減するため一定額を給付する。</p>			自宅通学者	自宅外通学者	奨学金 (月額)	国公立	18,000円	23,000円	私立	30,000円	35,000円	入学資金 (一時金)	国公立	50,000円		私立	50,000円ただし、入学金相当額内(150,000円を限度)の加算あり	
			自宅通学者	自宅外通学者																
奨学金 (月額)	国公立	18,000円	23,000円																	
	私立	30,000円	35,000円																	
入学資金 (一時金)	国公立	50,000円																		
	私立	50,000円ただし、入学金相当額内(150,000円を限度)の加算あり																		
国 諸 ⊖	88,201 203,290 277,529																			
教科等指導対策費	60,404 (32,993)	<p>子どもに確かな学力を身につけさせるための授業改善の推進や、社会性や思いやりの心を育成するため、道徳教育や体験活動等の推進を図る。</p> <p>1 中学生チャレンジウィーク 823</p> <p>子どもたちの職業観・勤労観を育むため、県立中学生に対し5日以上の職場体験を実施する。また、児童生徒が学習の成果を蓄積し、自分の成長を振り返るための「夢の手帖」を作成し、発達段階に応じた系統的なキャリア教育を推進する。</p>																		
国 ⊖	25,237 35,167																			

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
(教科等指導対策費)		<p>⑧⑨ 2 教科指導力 ステップアッププロジェクト 33,569</p> <p>小中学校児童生徒の学ぶ力向上を図るため、小学校1・2年生で学ぶ姿勢、学習規範などを身につけさせるとともに、小学校3年生以上では評価問題の実施により、各学年で身に付けておくべき力の定着を図る。</p> <p>併せて、小学校において放課後等の活用により、自主的な学習習慣を定着させ、家庭学習の充実につなげていく。</p> <p>3 道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業 8,000</p> <p>県全体の道徳教育の充実を図るため、拠点推進地域を指定し、研究成果を県内に広げることで、各市町の道徳教育推進体制を整備するとともに、道徳教育推進教師の専門性を高め、学校における道徳教育の指導体制を確立する。</p> <p>4 学級活動スキルアップ事業 427</p> <p>小中学校の学級活動における話し合い活動を充実させ、児童生徒が協力して集団の生活を向上させようとする態度等の育成を図る。</p>
国際教育推進費	<p>160,855 (180,039)</p> <p>国 58,317</p> <p>⊖ 102,538</p>	<p>急速に進展する国際化に対応できる人材を育成するため、小学校における外国語活動、小・中・高等学校の系統的な英語教育等を進める。</p> <p>1 語学指導外国青年招致 87,285</p> <p>外国語指導助手（ALT：18人）を高等学校等に配置し、生徒の外国語理解・コミュニケーション能力の向上を図る。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>(国際教育推進費)</p>		<p>② しが英語力育成プロジェクト 3,805</p> <p>国際的に活躍できるグローバル人材を育成するため、小学校における英語の教科化を見据え、小学校外国語活動の充実を図るとともに、小中高を通じた系統的な英語教育を推進する。 また、国際バカロレアの導入に向けた調査・研究を行う。</p>
		<p>3 スーパーグローバルハイスクール事業 47,943</p> <p>スーパーグローバルハイスクールを指定し、語学力とともに、幅広い教養、問題解決力等の国際的素養を身につけ、将来的に人文科学・社会科学分野で国際的に活躍できるグローバルリーダーを高等学校段階から育成する。</p>
		<p>4 外国人児童生徒いきいきサポート支援事業 7,432</p> <p>日本語指導が必要な外国人児童生徒等の在籍する公立小・中学校に母語が話せる支援員を派遣し、教育相談や保護者との面談、学習支援等をととして学校生活への適応や効果的な指導の充実を図る。</p>
		<p>5 外国人児童生徒ハートフル支援事業 398</p> <p>県立学校等における日本語指導が必要な外国人児童生徒に対して、母語を理解することのできる指導協力者を派遣し、児童生徒や保護者等と円滑なコミュニケーションが図れるように支援する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
高等学校特別活動推進費	222,962 (72,102) ⊖ 222,962	<p>高等学校における特別活動の推進を図るため、文化部活動等を支援する。</p> <p>1 高等学校文化祭事業 222,962</p> <p>平成27年7月28日から8月1日に開催される第39回全国高等学校総合文化祭滋賀大会の開催に向け、実行委員会に対して補助を行い、次代を担う高校生が自らの手で大会を創り上げるとともに、文化部活動をさらに充実させることにより、心豊かな人間性の育成と芸術文化活動の振興・普及を図る。</p>
【総合教育センター】 研究調査費	7,815 (8,200) ⊖ 7,815	<p>教育的諸問題の解決への基礎資料を提供するため、教科教育、教育相談の実態調査および実証的調査研究を行う。</p> <p>1 特別支援教育支援事業 5,499</p> <p>発達障害等のある子どもの教育相談を行うとともに、地域や学校の特別支援教育を推進していく核となる人材の育成を図る。</p>
講習会費	672 (735) ⊖ 672	<p>現代的な課題や新学習指導要領、学力向上に対応した研修を実施し、教職員の指導力向上を図る。</p> <p>1 指導力向上研修 206</p> <p>教職員を対象に授業づくりや学級づくり等を目的とした実践的な研修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科指導力向上のための研修 ・現代的課題に対応するための研修

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
教職員研修費	<p>10,967 (11,253)</p> <p>⊖ 10,967</p>	<p>教職員の資質向上を図るため、経験・職務に応じた研修を行う。</p> <p>1 マネジメント研修 738</p> <p>学校が課題解決に向けて組織的、機動的に対応できる組織体となるため、管理職等の経営管理能力の育成と中堅教員のリーダーシップ養成を図る研修を行う。</p> <p>対象：管理職（小・中・県立学校） 中堅教員（小・中・県立学校） 主幹教諭（小・中・県立学校）</p> <p>2 教科主任指導力向上研修 781</p> <p>教科主任としての力量を高め、教科指導力の向上を図る。</p> <p>対象：小・中・高等学校（国、算数・数学、外国語活動・英語）</p>
【びわ湖フローティングスクール】 活動費	<p>35,586 (36,121)</p> <p>⊖ 35,586</p>	<p>びわ湖フローティングスクールの教育・学習効果を高めるための環境整備を行う。</p> <p>1 児童学習航海（1泊2日） 94航海</p> <p>2 「湖の子」体験航海（1日） 2航海</p> <p>3 特別航海（1日） 2航海</p>
学習船建造事業費	<p>1,094,194 (38,000)</p> <p>繰 285,794</p> <p>起 802,400</p> <p>⊖ 6,000</p>	<p>1 学習船建造事業 1,094,194</p> <p>学習船「うみのこ」新船建造および建造監督の委託を行う。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【人権教育課】</p> <p>人権教育推進指導事業費</p> <p>国 1,800</p> <p>⊖ 11,100</p>	<p>12,900 (12,066)</p>	<p>学校教育における人権教育を推進するため、調査・研究や指導者の養成を行うとともに、関係機関の連携のもと、子どもの自尊感情を高める取組を推進し、自己実現を図る技能や態度を育む。</p> <p>④⑤ 1 自尊感情・学びの礎育成プロジェクト事業 3,289</p> <p>人権の視点を教育活動の根幹に位置付け、学校・園・所、関係機関、家庭、地域社会がつながり、子どもの生活と学ぶ意欲を支える基本となる自尊感情を高める取組を推進する。</p> <p>2 人権教育パワーアップ事業 1,663</p> <p>児童・生徒の人権意識の現状を踏まえた学習プログラムづくりや教職員の指導力向上に取り組むとともに、いじめや差別を許さない学校づくりを推進することにより、本県の人権教育の一層の充実を図る。</p>
<p>人権教育総合推進費</p> <p>⊖ 49,967</p>	<p>49,967 (53,617)</p>	<p>社会教育における人権教育を推進するための体制の整備・充実を図るとともに、市町等における人権教育諸活動の促進を図る。</p> <p>1 人権教育研究活動事業推進費 9,983</p> <p>(公社) 滋賀県人権教育研究会が実施する人権教育の調査研究、啓発、人材育成等の事業に要する経費に対して補助する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【生涯学習課】</p> <p>生涯学習推進事業費</p>	<p>7,907 (9,131)</p> <p>諸 250</p> <p>⊖ 7,657</p>	<p>1 淡海生涯カレッジの開設 978</p> <p>大学や高等学校および公民館等の学習機関が相互に連携・協力を図り、県民に広域的で専門的、体系的な学習機会を提供する。</p>
<p>市町等人権教育推進事業費</p>	<p>6,840 (6,882)</p> <p>⊖ 6,840</p>	<p>人権が尊重される社会の実現を目指し、地域ぐるみで人権教育の充実を図る。</p> <p>1 市町人権教育推進協議会等事業補助 5,475</p> <p>市町人権教育推進協議会等の事業および人権教育推進員等の設置に対し補助を行う。</p> <p>2 県人権教育推進協議会事業補助 900</p> <p>人権意識の高揚と人権教育の推進を図るため、県人権教育推進協議会に対して補助を行う。</p>
<p>子ども読書活動推進事業費</p>	<p>1,900 (1,858)</p> <p>⊖ 1,900</p>	<p>1 子ども読書活動推進事業 1,790</p> <p>子ども読書活動に関する啓発や、学習講座の開催、学校図書館活用への支援を行うことにより、子ども読書活動の推進を図る。</p> <p>⑧重2 学校図書館活用支援事業 110</p> <p>実施対象校となる小中学校の学校図書館へ支援員を派遣し図書館リニューアルを実施するとともに、図書館利用や授業への活用プランの作成を支援する。さらに実施校の活用事例を普及することにより、各市町における小中学校図書館の活性化を図る。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
子どもを育む地域・ 家庭教育力推進事業 費	38,847 (44,917)	1 家庭教育力の向上 656 子育て学習講習会等の実施、家庭教育協力企業協定制度を活用した企業における子育て環境づくり、「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動の推進等により、家庭の教育力の向上を図る。
	国 17,638	
	諸 330	
	○ 20,879	2 子どもの体験活動の機会と場の充実 1,693 公民館などを活用し地域ぐるみで子どもの集団宿泊体験活動を進める「通学合宿」の推進など、子どもの体験活動の機会と場の充実に向けた環境づくりを進める。
		3 自然体験活動指導者養成事業 665 学校や各種事業などで子どもの人間関係づくりを効果的に支援できる自然体験活動指導者の養成を行う。
	4 「地域の力を学校へ」推進事業 3,393 「しが学校支援センター」を設置し、学校支援ディレクターの配置や、学校と地域を結ぶコーディネーター担当者新任研修等により、豊富な知識や経験を持つ地域の様々な人々や企業・団体・NPO等が、学校を支援する仕組みづくりを推進する。	
	5 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業 28,017 地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する「学校支援地域本部」をはじめ、子どもの安全・安心な居場所づくりのための「放課後子ども教室」や家庭教育に関する学習機会の提供などを行う「家庭教育支援」、地域の多様な経験を持つ人材・企業の協力を得て行う「土曜日の教育支援」など、教育支援体制等を構築する市町の事業に対して補助を行う。	

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
(子どもを育む地域・ 家庭教育力推進事業 費)		<p>⑧⑨6 学ぶ力を育てる土曜学習支援事業 4,322</p> <p>専門的な知識や技能を持つ地域人材や教員等の協力により、子どもたちが学ぶ楽しさを味わい、技能や教養を高めることができる体系的、継続的な学習プログラムを学校施設等を活用して実施する市町に対して補助を行う。</p>
<p>【図書館】</p> <p>図書館協力事業費</p>	<p>13,488 (3,626)</p> <p>⊖ 13,488</p>	<p>⑧⑨1 学校図書館活用支援事業 9,632</p> <p>実施対象校となる小中学校の学校図書館へ支援員を派遣し、図書館リニューアルを実施するとともに、図書館利用や授業への活用プランの作成を支援する。さらに実施校の活用事例を普及することにより、各市町における小中学校図書館の活性化を図る。</p>
<p>図書資料整備費</p>	<p>58,749 (57,874)</p> <p>⊖ 58,749</p>	<p>図書資料の収集・整備に努め、県民の資料情報センターとしての役割を果たしていく。</p> <p>1 図書資料等購入事業 56,364</p>
<p>【スポーツ健康課】</p> <p>学校保健安全指導費</p>	<p>173,526 (167,498)</p> <p>国 7,344</p> <p>諸 54,305</p> <p>⊖ 111,877</p>	<p>児童生徒が健康で安全な生活を送ることができるよう、県立学校の児童生徒の健康管理や健康課題に対する指導、さらにはがん教育や安全教育の充実を図るとともに、地域ぐるみで取り組む学校安全体制の整備を推進する。</p> <p>1 健康管理強化事業 163,000</p> <p>県立中学校を始め、県立高等学校・特別支援学校の児童生徒の健康診断や学校環境衛生検査等を行う。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
(学校保健安全指導費)		<p>2 学校安全体制整備推進事業 4,519</p> <p>地域ぐるみで子どもたちを見守る体制を県内各地に整備し、スクールガードの活動を推進するため、市町に対して補助を行う。</p> <p>3 実践的安全教育総合支援事業 4,244</p> <p>学校における安全教育の充実のため、緊急地震速報を活用した避難訓練や交通事故現場の再現など、防災や交通安全の実践的な取組を行う。</p> <p>④ 4 学校における安全管理・安全教育の推進事業 163</p> <p>危機管理意識の向上を図るため、校長を対象としたトップセミナーを開催し、学校の危機管理に関する知識を深める。</p> <p>5 がんの教育推進事業 142</p> <p>がん教育の推進に向け、教員を対象に最新の医療情報に関する研修会を実施する。</p>
学校体育指導費	<p>105,384 (65,299)</p> <p>国 10,677</p> <p>○ 94,707</p>	<p>児童生徒の体力向上に努めるとともに心身の健全な発達を促し、生涯にわたって運動やスポーツを主体的に実践していくための基礎を培う学校体育・スポーツの充実を図る。</p> <p>④⑤ 1 体育授業力向上事業 1,114</p> <p>県内の全児童を対象に運動時間を設定する等、子どもの自主的な運動遊びを促進する取組を実施するとともに、県域で体育の授業力の向上に向けた方策を共有化する委員会を設置する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
(学校体育指導費)		<p>② 全国高校総体開催事業 45,186</p> <p>平成27年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)のうち3競技(卓球・ソフトボール・登山)の本県開催に係る経費を支援するため、同大会実行委員会に対し補助を行う。</p> <p>3 記録会・体育大会等補助金 36,896</p> <p>小体連、中体連および高体連が開催する各種記録会、大会および全国中学校駅伝大会開催準備に係る経費に対し補助を行う。</p>
スポーツ振興事業費	<p>10,043 (10,258)</p> <p>⊖ 10,043</p>	<p>子どもから高齢者まで生涯を通じて、主体的にスポーツに親しめるよう、地域のスポーツ推進を図る。</p> <p>① ① スポーツボランティア支援事業 750</p> <p>県内のスポーツ大会や国体等の円滑な運営につなげるため、ボランティアの養成とボランティアネットワークの構築を行う。</p> <p>2 生涯スポーツ振興事業 1,508</p> <p>地域の総合型スポーツクラブを支援するため、広域スポーツクラブの運営や事業の支援を行うとともに、ラジオ体操の普及に向けた取組を行う。</p>
国民体育大会費	<p>47,630 (92,733)</p> <p>⊖ 47,630</p>	<p>本県の競技スポーツ推進のため、国民体育大会等に選手を派遣する。</p> <p>1 国民体育大会派遣費補助金 45,162</p> <p>本県を代表し、第70回(第71回冬季)国民体育大会等に参加する選手や監督の派遣経費に対し補助を行う。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
団体育成・各種大会負担費 ⊖	51,551 (37,798) 51,551	<p>各種スポーツ団体の安定的な団体運営と事業実施を支援するとともに、本県のスポーツ推進に寄与する各種競技大会を行う。</p> <p>1 びわ湖毎日マラソン大会開催 30,000</p> <p>第71回びわ湖毎日マラソン大会(びわ湖レイクサイドマラソン大会開催含む)の開催経費の一部を負担する。</p> <p>2 関西ワールドマスターズゲームズ2021負担金 13,667</p> <p>「関西ワールドマスターズゲームズ2021」組織委員会へ、平成27年度負担金を支出する。</p>
競技力向上対策事業費 諸 ⊖	33,576 (15,166) 11,572 22,004	<p>平成36年に本県で開催する第79回国民体育大会に向けて、開催県にふさわしい成績を残せるよう、「選手の育成強化」、「指導体制の充実」、「拠点の構築と環境の整備」の3つを柱として競技力の向上を図る。</p> <p>① 1 国体に向けた競技力向上対策事業 33,576</p> <p>競技力向上対策事業を実施する対策本部に対して負担金を支出するとともに、次代を担うジュニアアスリートの発掘・育成および特殊競技用具の充実を図る。</p>
【文化財保護課】 文化財活用促進費 国 繰 ⊖	12,734 (12,252) 4,286 2,461 5,987	<p>県内各地に所在する文化財を活用することにより、地域づくりへの貢献や滋賀の歴史・文化の県内外、海外への積極的な発信を図る。</p> <p>① 1 人と地域が輝く歴史遺産活用モデル事業 2,000</p> <p>県内の史跡等でモデル地区を設定し、活用の担い手となる大人や子どもを募集し、学習会などで人材を育成する。さらに、担い手の自発的な企画による探訪などの事業を支援し、来訪者との交流に協働して取り組む。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
(文化財活用促進費)		<p>② 「世界遺産」・「日本遺産」登録推進事業 900</p> <p>「彦根城」の世界文化遺産登録の準備のため引き続き彦根市を支援するとともに、新たに「日本遺産」の認定の推進を図り、国内外に情報を発信するため市町を支援する。</p> <p>③ 「千年の美つたえびと」づくり事業 1,613</p> <p>文化財を守る地域のリーダーとして、また県内の博物館や美術館と地域を結び、来訪者に魅力を伝える人材として、「千年の美つたえびと」を養成する。</p> <p>④ 滋賀のまつり継承支援モデル事業 800</p> <p>祭の保護団体等に、祭の保存継承に関する意識調査を実施し、対策や組織づくりを検討する。また、モデル地区で祭の保護団体と来訪者が交流する現地探訪会を実施し、祭が持つ意義や魅力を地域と来訪者が共有する機会を作る。</p> <p>⑤ 「戦国の近江」魅力発信事業 4,960</p> <p>城跡や古戦場など、戦国時代の遺跡の魅力を発信するため、探訪やシンポジウムを県内外で開講し、来訪者の誘致を図る。また彦根城・安土城、忍者を紹介する英語版資料をインターネットで発信し、外国人来訪者の誘致を図る。</p>
遺跡保存整備事業費	<p>456,270 (357,300)</p> <p>国 29,284</p> <p>諸 414,359</p> <p>○ 12,627</p>	<p>地域開発と遺跡保存との調和を図りつつ、文化遺産の保存対策を講ずる。</p> <p>1 公共事業関連緊急発掘調査 414,359</p> <p>公共事業の円滑な推進を図るため、国土交通省等からの受託による公共事業関連発掘調査等を行う。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
(遺跡保存整備事業費)		<p>2 史跡公有化 33,481</p> <p>地域の歴史にとって重要な価値を持つ史跡を適切に保存し、次世代に継承していくため、緊急性の高い土地の公有化を図る。</p>
文化財保護助成費	<p>297,541 (366,920)</p> <p>財 1,865</p> <p>繰 129,136</p> <p>諸 134,571</p> <p>⊖ 31,969</p>	<p>文化財の保存と活用を図るため、文化財の所有者等が行う保存修理等の事業に対して助成を行う。</p> <p>1 指定文化財保存修理等補助事業 129,336</p> <p>(1) 国指定文化財保存修理等補助金 38,455 国指定文化財の所有者等が実施する保存修理事業等に要する経費の一部を助成する。</p> <p>(2) 県指定文化財保存修理等補助金 90,881 県指定文化財の所有者等が実施する保存修理事業等に要する経費の一部を助成する。</p>
琵琶湖文化館管理運営費	<p>59,525 (43,234)</p> <p>繰 6,929</p> <p>⊖ 52,596</p>	<p>休館中の琵琶湖文化館に収蔵している国宝・重要文化財を含む収蔵品の安全かつ良好な管理および活用を行う。</p> <p>1 新生美術館への琵琶湖文化館機能移転準備事業 30,474</p> <p>琵琶湖文化館が寄託等により保管している国宝・重要文化財を含む約7,800点の収蔵品を、新生美術館に円滑に移転することができるよう収蔵品の整理調査・修理等を進める。</p> <p>2 「受け継がれゆく いにしえの美」琵琶湖文化館所蔵品再生展示事業 6,929</p> <p>マザーレイク滋賀応援基金を充当して、琵琶湖文化館が所蔵している文化財のうち、県に寄付された損傷が著しい作品を修理再生し、県内の美術館等で一般に展示公開する。</p>